

コンパクトカー『ミラーージュ』『アトラージュ』のデザインを一新してタイで販売開始

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役 CEO：加藤 隆雄、以下三菱自動車）は、グローバルコンパクトカーのハッチバック『ミラーージュ』*¹、セダン『アトラージュ』*²のデザインを一新し、11月18日（月）にタイより販売を開始、その他の地域においても順次販売する予定です。なお本モデルは11月28日（木）にタイで開催される Motor Expo 2019 に出品します。

今回のデザイン変更では、洗練されたコンパクトカーとして、両車ともシャープでダイナミックなエクステリアデザインと上質感のあるインテリアデザインとしました。

『ミラーージュ』『アトラージュ』は、昨年度グローバルで合計約14万台を販売した三菱自動車の世界戦略車であり、当社のタイにおける生産・販売会社ミツビシ・モーターズ・タイランドのラムチャバン工場で生産しています。

*1：一部地域では『スペーススター』として販売

*2：一部地域では『ミラーージュ G4』として販売



『ミラーージュ』（タイ仕様）



『アトラージュ』（タイ仕様）

商品概要（タイ仕様）*³

(1) シャープでダイナミックなエクステリアデザイン

- 三菱車のフロントデザインコンセプトである「ダイナミックシールド」を『ミラーージュ』『アトラージュ』として初採用。左右から中央に向かって包み込むバンパーのプロテクト形状とフロントグリル部を水平・垂直基調のスクエアなラインで構成することで、力強さとシャープさを高めたフロントフェイスとしました。
- ヘッドライトは、フロントグリルと連続感のある左右へと広がるデザインとし、フォグランプをバンパーサイドに配置するなど最適化したランプレイアウトにより、ワイドで安定感のあるフロントデザインとしました。
- リアデザインは、L字型のシグネチャーとしたLEDコンビネーションランプと、バンパーコーナー部に縦型のリフレクターを配置したスクエアな形状により、車幅いっぱい広がる水平基調のデザインとすることで、ワイド感と安定感を表現しました。
- ボディカラーは『ミラーージュ』『アトラージュ』ともに強い輝きと陰影を併せ持つホワイトダイヤモンドを新たに設定、さらに『ミラーージュ』には鮮やかなサンドイエローを追加しました。

- ・新デザインの15インチアルミホイールは、『ミラーージュ』にスポーティな2トーンカラーの切削加工タイプを、『アトラージュ』にはエレガントなシルバー塗装タイプをそれぞれ設定しました。

(2)利便性を向上し、上質感を持たせたインテリア

- ・フロントドアトリムのデザインを見直し、アームレストには肌触りの良い生地巻きを採用しました。
- ・スポーティなイメージのカーボンパターンをあしらったメーター文字盤とパワーウィンドウスイッチパネルを採用しました。
- ・最上級類別では特別なシートを設定。『ミラーージュ』にはファブリックと合成皮革を組み合わせたコンビネーションシートを採用しスポーティさを演出、『アトラージュ』には合成皮革を採用したモノトーン仕立てのエレガントなデザインとしたほか、いずれもシートサイドにパイピングとステッチを追加することで上質さを演出しています。



『ミラーージュ』（タイ仕様）



『アトラージュ』（タイ仕様）

- ・機能面では、7インチスマートフォン連携ディスプレイオーディオ（SDA）を採用することで、視認性を向上しました。また、Apple CarPlay^{*4}に対応しています。

*3：国や地域、グレードにより仕様が異なることがあります。

*4：Apple CarPlayは米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。

ご参考：

現行『ミラーージュ』は、1.2Lエンジンを搭載した5ドア5人乗りのコンパクトハッチバックで、タイ、欧州、米国をはじめ、世界の約90ヶ国以上で販売しました。

現行『アトラージュ』は、1.2Lエンジンを搭載する4ドア5人乗りのコンパクトセダンで、タイ、米国を中心に、これまで約60ヶ国で販売しました。グローバルで『ミラーージュ』『アトラージュ』の累計販売台数はそれぞれ約65万台、約28万台（2019年9月末時点）となる三菱自動車の世界戦略車です。

以 上